

大学名： 国立大学法人 琉球大学

ASPUnivNet の 4つの機能	評価項目	事例記述
<p>学校のユネスコスクール加盟を支援します。</p>	<p>1. ユネスコスクール加盟を希望する地域の学校から相談があったときにそれに応じることができた。</p>	<p>加盟を希望する地域の学校からの相談はなかった。</p>
	<p>2. ユネスコスクール・チャレンジ期間実施校に対する相談に応じることができた。</p>	<p>キャンディデート校（浦添市立前田小学校）に挨拶に伺い、現状の取組みについて共有した。</p>
	<p>3. 地域の加盟済のユネスコスクールに向けて ESD/SDGs をリードする学校としての「質の向上」にかかわる支援を行うことができた。</p>	
<p>大学の持つ知的財産をユネスコスクールの活動に提供します。</p>	<p>1. 大学の資源を活用して、地域のユネスコスクールに向けた支援（資料提供やコーディネート、出前授業やワークショップなど）を行うことができた。</p>	<p>ASPUnivNet 加盟に際してのキックオフイベントとして、「沖縄県 SDGs 教育連携ネットワークシンポジウム」を開催し、第一部のワークショップにおいて、学内の教員がコーディネーターとなり、4つのワークショップ（SDGs の達成に向けた教育実践報告・探究的な学びの充実に向けた高大連携・国際保健をテーマとした ESD の推進・学生による SDGs の学習分析）を企画運営した。</p>
	<p>2. 研修会やワークショップを地域のユネスコスクールと協働して開催することができた。</p>	<p>前述のイベントの第二部の全体会シンポジウムにおいて、基調講演（ESD for 2030：SDGs 達成の鍵となる地域の学び合いを促進させるネットワークとは～沖縄の特性を活かして）を踏まえたシンポジウム（「どんな SDGs 教育連携ネットワークを、どうやって作るか」）を開催し、ユネスコスクール加盟校（KBC 学園未来高等学校）から登壇者を派遣いただき発表して頂いた。</p>
	<p>3. 大学の資源を活用して、地域のユネスコスクールと協働で教材やモデルプロジェクトを開発することができた。</p>	
<p>地域の教育機関とユネスコスクールとの連携を促進します。</p>	<p>1. 地域のステークホルダーにユネスコスクールの存在や意義について広く知らせることができた。</p>	<p>県内の教育委員会や教育事務所、教育機関（小学校～大学）、NPO、企業、JICA おきなわなど、ESD に関心のある組織や推進機関に前述のイベントへの通知や参加を通して認知して頂くことができた。</p>
	<p>2. ユネスコスクールと地域の多様なステークホルダーとを結びつけることができた。</p>	<p>前述のイベントの開催によって、小学校から大学にいたる生徒や学生、教職員等、多様な教育関係者と NPO/NGO、企業等、多様な参加者が一同に集い交流を通して、ESD 及び SDGs 教育の推進に繋がる学びの場を創出した。</p>

	<p>3. ユネスコスクールに関連した地域教育委員会との連携や地域における大学間の連携を促進することができた。</p>	<p>沖縄県教育委員会、JICA おきなわと連携し（共催）、「沖縄県 SDGs 教育連携ネットワークシンポジウム」を開催することができた。</p>
<p>国内外のユネスコスクールとのネットワークづくりを支援します。</p>	<p>1. 地域をこえた国内外の多様なステークホルダーにユネスコスクールの存在や意義について知らせることができた</p>	<p>JICA おきなわ、ESD 活動支援センター、九州地方 ESD 活動支援センターをはじめとする ESD 推進機関に大学の ASPUnivNet 加盟ならびに取組みを説明した。</p>
	<p>2. 地域をこえた国内外のユネスコスクールと協働で活動することができた。</p>	
	<p>3. ユネスコスクールがグローバルな活動することについてそれを支援することができた。（例：ユネスコスクールの国境を越えた交流、海外とのオンライン交流、海外のプロジェクトへの参加など）</p>	
<p>その他の活動</p>	<p>1. 大学内でユネスコスクールの存在や意義について広く知らせることができた。</p>	<p>本学 SDGs 推進室及び教育ワーキンググループにおいて、ASPUnivNet の取組みを周知した。</p>
	<p>2. 学部大学院の教育課程でユネスコスクールにかかわる教育を行うことができた。</p>	
	<p>3. 調査研究活動でユネスコスクールに関連した調査研究を行うことができた。</p>	
	<p>4. 自由記述</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・信州 ESD コンソーシアム事務局を務める信州大学を訪問し、コンソーシアムの活動や運営について情報収集を行った。 ・大学として「カーボンニュートラル達成に向けた大学等コアリション」に参加し、ESD・SDGs の達成に向けた教育を元にした教育開発と大学間の連携を進めている。